

海も見つめている

吉岡幸一

またあの男の人は海を見ている  
伸びきった髪を海風にさらして  
日が暮れるまで振り返ることなく  
海に向かって立っている

見ているというにはあまりに静かで  
眺めているというにはあまりに激しく  
睨んでいるといった方が相応しい  
あの男の人は海と対峙し続けている

いつの頃からだったか  
十年以上も前からやって来ては  
あの日以降に作られた堤防に登っている  
雨でも雪でも嵐でも灼熱でも関係がなく

拳を振りあげては海に突きつけ  
妻と思われるひとの名前を  
壊れたテープのように繰り返し叫んでいる  
答えることもなく海は聞いている

黒かったあの男の人の髪も白くなり  
堤防に立つ足も弱くなり  
座るようになって声も出なくなっても  
あの男の人は海に来ることを止めはしない

海もあの男の人の姿を見つめている